

# 共に生きる社会をめざすための施策のあり方に関する提言

～枚方で暮らす外国籍の人々や外国につながる子どもたちの「生きづらさ」の軽減に向けて～

共に生きる社会をめざす市民円卓会議・開催委員会

2025年3月19日

## 基本的な考え方

多くの人々は、何らかの側面で色々な「生きづらさ」を抱え、そのことに「痛み」を感じています。中でも、外国籍等の人々には社会構造的な不平等や無理解を根底にした数多くの「生きづらさ」があるため、「痛み」も数多く感じさせることになっています。重要なことは、そのことを軽減しようとしめない社会は、すべての人々にとって生きづらい社会であるということです。

そのような考えを共有した私たちは、この間、実情把握と議論を進め、外国籍等の人々が抱える「生きづらさ」の軽減に向けた施策を提言することにしました。

そして、今後も枚方市、枚方市教育委員会及び枚方市議会とともに、外国籍等の人々の「生きづらさ」の軽減に取り組んでいきたいと考えています。

本提言が、多様な背景を持った人々が共に生きる社会の実現につながることを切に願います。

## (1)共に生きる地域社会をつくるために必要な基本的な取り組み

### 【提言施策】

①現在、枚方市においては、人権に関する都市宣言・条例・基本計画において、多文化理解の促進やヘイトスピーチに対する啓発推進等の人権擁護の取り組みを進めるとともに、「国際化施策に関する考え方」という行政計画が策定されている。しかし、内容や取り組み、体制などが不十分であるため、これらを更に充実する基本方針を定め、全ての行政分野において具体化する。

②上記で定められる理念や基本目標を市民全体のものとするための取り組みを強化する。

## (2)安全・安心に暮らすために必要な基本的な取り組み

### 【提言施策】

①外国籍等の人々への情報提供について、確実に細やかな対応策・対応体制を確立する。

②外国籍等の人々の様々な「生きづらさ」に関する総合的な相談・サポート体制を整備する。

③イスラム教徒の人々の生活全般に関わる文化的・霊的な価値観の違いを理解し、施設整備や提供する業務のあり方に反映するための研修・研究活動を推進する。

④災害発生時の行動、火災や急病時の対応等について、外国籍等の人々を対象とした対応体制を確立する。

## (3)地域における日本語学習支援

### 【提言施策】

①共に生きる地域社会をつくるために必要な重要施策に、外国籍等の人々への日本語学習支援を明確に位置付ける。

②様々な日本語学習ニーズに対応するための体制調整、支援人材の育成・確保、学習者への情報提供、学習希望者の把握、それぞれの学習者に対応した学習内容・方法・教材等の支援などを担える公的な組織体制を整備し、行政と市民団体・市内大学・市民との協働を強化する。

## (4)子育て支援について

### 【提言施策】

①外国につながる子どもたちを含む外国籍等の人々に対する施策を明確に定めた子育て・子育て支援施策を確立する。

②外国につながる子どもたちと共に育つ保育や幼児教育に関する「指針」を定め、定着化のための取り組みを進める。

## (6)外国につながる子どもたちに対する教育・進路保障

### 【提言施策】

①教育委員会による就学状況の正確な把握及び保護者とのコミュニケーションの確保並びに円滑な就学に向けた取り組みを進める。

②学校・教育委員会・地域・市内大学・市民団体等によって外国につながる子どもたちと共に生きる総合的な教育体制を確立する。

③外国につながる子どもたちが希望を持って自らの将来を描けるための支援を強化する。

④外国につながる子どもたちの日本語能力や学力を伸ばすための効果的な学習環境を整備する。

⑤外国につながる子どもたちがそれぞれの母語や母国文化を大切に思えるための支援を行う。

⑥多様な文化や生活を共に学ぶ教育を推進する。

## (5)学校における外国につながる子どもたちに対する日本語教育

### 【提言施策】

①学校における外国につながる子どもたちに対する日本語教育を充実させるために、日本語指導教員配置の充実を国・府に働きかけるとともに、市独自で日本語指導を担う人員体制を拡充する。

②子どもたちにとって安全で参加しやすく、毎日でも学習できるように、学校内の放課後に日本語学習支援等を受けられる場を整備する。

③日本語学習支援が必要な高校生を含む外国につながる子どもたちへ在宅での学習支援を提供する。

